

分析機器部門講習会シリーズ

プロテオーム解析技術セミナー ～ プロテオミクスの最新前処理技術の紹介 ～ のお知らせ

プロテオーム解析、特に質量分析装置（以下、MS）を用いたタンパク質構造解析の観点から LC/MS システムの概要をわかりやすく説明するとともに、LC/MS へ導入するまでのサンプル前処理方法からその応用研究（どのような研究に利用できるか）、さらには最新の前処理技術について紹介します。

日 時：平成 20 年 1 月 29 日（火） 14:00～16:00

使用機器：機器使用予定はありませんが、LC/MS や MALDI-TOF 型 MS と関係あり

受講対象：MS 使用予定者（初心者）から熟練者まで幅広く受講下さい

講習内容：別紙参照下さい

場 所：基礎医学研究棟 3 階 第 2 講義室

定 員：100 名（申込者多数の場合は先着順とさせていただきます）

受講料：無料

申込期間：平成 20 年 1 月 25 日（金）まで

申込方法：電子メールにて subject 欄に「講習会名:プロテオーム解析技術セミナー」、本文欄に「所属講座名」・「氏名」・「内線番号」・「電子メールアドレス」を明記の上、yamakawa@med.nagoya-u.ac.jp までお申込ください。

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当：山川（内線：2406，E-mail: yamakawa@med.nagoya-u.ac.jp）

* Web でも講習会情報を掲載しています(URL: <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/>)

プロテオーム解析技術セミナー

— プロテオミクスの最新前処理技術の紹介 —

Key words : 質量分析計、液体クロマトグラフィ、リン酸化、
前処理、トリプシン消化、シリカモノリス

プログラム

14:00~15:00 プロテオミクス概論と最新の前処理・分離ツールの紹介

ジーエルサイエンス株式会社 営業企画課 鈴木健一

プロテオーム解析において、質量分析計を用いたタンパク質解析法は既に確立されています。しかしながら、解析の目的によってその手法は様々な形に変化・応用されています。

今回はプロテオミクスの手法総論を整理してご紹介するとともに、最新の前処理ツールと液体クロマトグラフィ（HPLC）の分離ツールをご紹介します。

15:15~16:00 翻訳後修飾（リン酸化）の選択的精製法

ジーエルサイエンス株式会社 バイオプロダクト技術担当 岸山いづみ

翻訳後修飾の中でも、タンパク質のリン酸化はシグナル伝達、癌化、疾病など様々な生体機能に大きく関わっています。しかしながら、リン酸化タンパク質は、細胞内での存在量も非常に少なく、加えてプロテオミクスでは、測定に質量分析計を用いますが、測定時のイオン化効率の悪さから一般的な前処理をただだけでは測定することが困難です。

そこでリン酸化タンパク質を選択的に取り出す研究が行われてきました。その中でも金属固定化カラム（IMAC）は高い効率で抽出できるツールとして認知されてきましたが、近年、酸化金属を用いた手法が紹介され用いられ始めています。今回は二酸化チタン（チタニア）を用いたツールによる選択的リン酸化ペプチド抽出法をご紹介します。

開催日時：2008年 1月29日(火) 14:00~16:00

会 場：名古屋大学医学部 基礎医学研究棟3階 第2講義室

主 催：ジーエルサイエンス株式会社 営業企画課
東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー30F
担当) 鈴木 健一 TEL：03-5323-6611 E-mail：suzuki@glsc.co.jp

企 画：名古屋大学 大学院医学系研究科
附属医学教育研究支援センター 分析機器部門
<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/>
担当) 山川 良典
TEL：052-744-2406 E-mail：yamakawa@med.nagoya-u.ac.jp

学内・学外を問わず、参加は自由で無料です。

当セミナーにご興味をお持ちの方は奮ってご参加ください。

なお、資料調達の関係上、参加を希望される方はsubject欄に「プロテオーム解析技術セミナー」本文欄に氏名・所属・連絡先電話番号・電子メールアドレスを明記の上、1月25日（金）までに名古屋大学：山川まで電子メールでお知らせください。当日参加も歓迎しますが、その場合は資料をお渡しできない場合があります。